

(第3種)

# 旧国鉄中央線の廃線跡、トンネルに熱視線

## 春日井で公開 6日まで

春日井市から岐阜県多治見市に続く旧国鉄中央線廃線跡で二日、第三回市民見学会が始まった。家族連れや鉄道ファンが思い思いに散策した。六日まで。

同廃線跡の整備に取り組んでいる春日井市の市民団体「愛岐トンネル群保存再生委員会」(NPO法人申請中)が実施。初日は県内外から七百人が参加した。

公開されたのは、一九六六(昭和四十二)年に廃線となったJR定光寺駅―多治見駅間八キロのうち、春日井市側の一・五キロ。明治中期に建造された赤れんがのトンネル四基が残っている。

見学会では、トンネルに使われた赤れんがの由来を学べるコーナーも用意し、参加者は興味深そうに見入っていた。名古屋市中村区の神田照子さん(六六)は「トンネルの風情と溪谷の眺めがとても良いですね」と喜んでいった。

同委員会は現在、企業が所有する廃線区間を買い取るためナショナルトラスト運動を展開中。この日も参加者に一口千円の寄付を呼びかけた。見学会は午前十時から午後三時まで。雨天中止。無料。

トンネルに使われた赤れんがの由来を学べるコーナー―春日井市玉野町で

駐車場がないため、J一寺駅下車、徒歩三分。R利用が条件で、定光 (木谷孝洋)



トンネルに使われた赤れんがの由来を学べるコーナー―春日井市玉野町で